

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達サポートセンター るぼろ					公表日	令和 8年 2月 11日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	・人数やプログラムに応じて、スペースの広さや環境を変化させている。	・人数や活動内容によっては、もう少し広いスペースが必要な時もある。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	・併設するこども園や児童発達支援などとも協力体制を取っている。	・配置上必要な人数は確保されているが、子どもの特性やグループによっては、ゆとりのある人員配置が望ましい。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	・子どもの特性に応じて、目的別に部屋を区切ったり、視覚支援を図るなどして環境を整えている。また、併設のこども園園庭を活用して外遊びを行っている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	・活動や状況に合わせて、活動部屋、リラックスルーム、運動部屋などを設定している。	・山や川、畑に囲まれた立地のため、動物や虫の侵入を避けられず、引き続き毎月の点検を徹底していく。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	・子どもの状況に応じて、過ごす方法や場所を子どもが選択できるようにしている。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	・日々の療育後または会議等で振り返りを行ったり、検討会を実施している。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・年1回のアンケートを実施し、業務の改善につなげている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・定期的な職員会議や支援会議において、業務や子どもの状況の共有や意見交換を行っている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		・第三者評価の受審については、引き続き検討していきたい。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・法定研修をはじめ資質向上のための研修は外部講師を依頼したり、オンライン研修を活用して、計画的に実施している。			
支援体制	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	4	0				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・職員全員で個別支援会議を実施し、子どもの現状確認や情報の共有、ニーズや課題を確認した上で計画作成を行っている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・計画内容は一覧にし、活動を検討する際に確認しながら、計画に沿った支援を行うよう努めている。			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	・必要に応じて作業療法士、言語聴覚士による行動観察を実施して意見交換を行っている。	・療法士が中心となり、様々なツールを用いながら、より子どもに効果的なアセスメントを行っていきたい。		

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	・職員だけでなく、子どもの意見も取り入れながらグループ全体で行っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0		
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	・子どもに合わせて個別の課題を取り入れながら、集団活動へつなげている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・状況によっては施設全体に流れを共有し、全体で見守る支援を行っている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		・同日の勤務時間内では時間が不足する場合があるため、翌日以降に確認できるよう工夫していく。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	・中間評価の会議を実施して計画内容の見直しをしている。	
	24 <u>【放デイのみ】</u> 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	3	1	・年1回、町全体で開催される福祉フェスティバルに出店して、子ども達も運営に参加している。	・地域の人々との交流する機会を増やしていきたい。
	25 <u>【放デイのみ】</u> 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	・活動を決める際は子どもたちでの話し合いを行ったり、個別で聞き取りをするなどして、子どもの思いを尊重している。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・町が主催するトライアングル会議に定期的に参加している。	
	28 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1	・月1回、小児科医による巡回指導の中で助言を受けている。	・児童発達支援センターとして、地域の事業所との連携を強化していく必要がある。
	29 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	・併設のこども園については、一緒に行事に参加したり、園庭を共有し遊ぶ機会を持っている。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・迎えに来て頂いた時にその日のフィードバックを行い、活動の様子と家庭での様子を共有している。	
	31 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	・親講座としてニーズのある内容を当施設スタッフ、同法人スタッフ、外部講師により企画・開催している。	
	<u>【児発事業所・児発センターのみ】</u> 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	<u>【児発事業所・児発センターのみ】</u> 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	<u>【児発センターのみ】</u> 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				

35	【児発センターのみ】質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	/	/		
	【児発センターのみ】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	/	/		
	【放ディのみ】学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行ってているか。	4	0	・各学校の行事や年間のスケジュールを年度初めに共有している。	
	【放ディのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0		
	【放ディのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	・同法人の相談支援事業所から情報提供する形を基本としており、保護者や関係機関などからの求めに応じて対応している。	・すべての利用児に対応できていないため、必要な場合は保護者意向を確認しながら取り組んでいきたい。
	【放ディのみ】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1	・管理者が全体会、相談支援部会に参画している。園域で開催される連絡会などには参加している。	・児童に特化した部会が設置されていないため、協議会としての検討が必要である。
保護者への説明等	41 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	42 放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	43 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	・保護者だけでなく、子どもによっては一緒に説明を行っている。	
	44 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・同法人内の相談支援専門員と協力しながら対応している。	
	45 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	・父親の会や保護者交流会を企画しているが、きょうだいの交流企画は実施できていない。	・年間の予定を計画的に保護者に伝え、参加しやすいように配慮していくとともに、きょうだい企画も検討していきたい。
	46 こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	47 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・毎月発行している「るぼろ便り」や日々のお知らせ等はメールで送っている。	・療育の様子を伝える手段として連絡アプリの活用を検討している。
	48 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	49 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	50 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	・併設のこども園が園庭開放や他園との交流を実施しているが、放課後デイサービスとしては実施していない。	・個人情報の取り扱いに注意しながら、こども園と協力して地域に開かれた行事等を検討していく。
	51 【放ディのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・児発管が中心となって対応し、内容によっては療法士や相談支援専門員等と協力するとともに、精神科医師の巡回も活用している。	
	52 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		・策定しているが、ご家族への説明は十分とは言えないため、より安心して利用してもらうために周知の方法を検討する。
	53 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	・災害に備えたBCPは策定している。 ・避難訓練は、施設全体で毎月実施している。	
	54 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0		

非常時等の対応	55	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	・安全計画を策定して、年間を通して各避難訓練を実施している。	・不審者対応訓練や引き渡し訓練などの方法をさらに検討していきたい。
	57	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	・安全計画については、事業所に掲示している。	・保護者に対する安全計画の説明は十分とは言えないため、避難訓練などを通じて周知していきたい。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・毎月1回リスクマネジメント会議を開催して施設全体で共有し、安全対策への意識を高めている。	
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・虐待防止委員会を設置し、研修や定期的なセルフチェックを行うなど、虐待防止に努めている。	
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	・身体拘束については、最小限にすることを基本とし、支援計画に記載するとともに定期的に見直しを行っている。	